

田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま
政治刷新中！

第51号

2018年8月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■学生の政治参加促進
■骨髄ドナー支援拡大

免疫消失時の再接種に支援を 知事「市町村と制度趣旨を共有」

福岡県議会の定例会本会議で、小児がん治療などで予防接種の免疫を消失した子どもの「再接種」に対する公費助成制度を創設するように初めて提案しました。全国の先進的な一部自治体で制度が創設され、がん患者と家族の経済的負担の軽減につながっており、福岡県内でも制度の拡大が求められます。

6月定例会の本会議・一般質問で私から提案。

知事は「市町村の予防接種担当者の研修会で（先行して取り組んでいる自治体の）制度の趣旨や目的について、情報共有を行っていく」と答弁しました。

小児白血病や小児がん等に罹患し、骨髄移植手術や抗がん剤治療を受けると、それま

でに予防接種で獲得した抗体が失われ、再接種が必要になります。しかし、国の現行制度では最初の定期接種が無料でも、再接種が必要になった場合は任意接種扱いとなり、費用は全額自己負担となります。定期接種は1回の接種費用が概ね1万円前後で、必要な再接種を全て受けると20万円ほどかかることになり、経済的負担が大きいと言えます。ただでさえ、がん患者を支える家族の経済的、身

体的な負担が大きいうえに、予防接種の制度上の欠陥がさらに当事者の負担を大きくしてしまっている現状は改善しなければなりません。全国の市区町村では「なんとかしたい」との思いから、独自に助成制度を創設する動きが出ています。さらに、大阪府は今年度から府内市町村の助成制度創設を促進するため、再接種費



用を助成する市町村に対し府として補助する事業を始めました。今回の質問では私からこれらの動きも紹介しました。

現在、県内60市町村で助成制度を創設している自治体はありません。私からは制度創設を市町村に促すため、大阪府のように県として市町村への補助事業を実施するよう求めたものの、知事はこれについては慎重な姿勢を示しました。大阪府や名古屋市は「知事や市長のトップダウン」でこれらの制度が実現しています。知事には継続して取り組みを求めていきます。



西日本豪雨の被災地支援を

西日本豪雨災害で福岡県内も含め各地で大きな被害が出ました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。県議会は県行政とともに被災地の復旧と復興に全力を挙げて取り組んでいきます。

私は7月、福岡県久留米市、岡山県倉敷市真備町、広島市安佐北区の被災現場で、全国の若手議員の仲間とともにボランティア活動に参加し、住宅で床下の土砂を取り除く作業などをお手伝いさせていただきました。今回の災害は、報道されていない現場も多く、上の写真のような状況が各所で生じています。猛暑の中なので何度も休憩を取りながら作業を続けます。全国から息の長い、多くの支援が必要と実感します。

今後も支援活動を継続していきます。できることを全力で。お一人お一人の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

田辺の政治活動を
連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカウント→@tanabe_kazuki

農業による地域振興 スイーツコーン大好評



古賀市の一大イベント「朝どりこがスイーツコーンまつり」が開催されました。私は毎年、早朝から若手農家の皆さんと一緒に収穫や選別などの準備を手伝わせていただいています。今年も会場には古賀市内外から多くの方が訪れていました。

2014年のJA全国青年大会で最優秀賞を受賞したスイーツコーンの特産品化の取り組みが地域振興につながります。このプロジェクトから生まれたのが農業振興ヒーロー「ヨメニコーン改」。保育所・幼稚園での食育や婚活イベントも展開し、県議会の農林水産委員会による先進事例調査や知事への表敬訪問も実現しています。これからもしっかりと応援していきます。

<田辺かずき プロフィール>



- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業(高51回)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
- 毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
- 厚生労働環境委員会(～13年)
- 国際交流推進対策調査特別委員会(～13年)
- 2013年 新社会推進商工委員会(～15年)
- 防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会(～15年)
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
- 広域行政推進対策調査特別委員会、副委員長(～17年)
- 【所属】 福岡県議会・農林水産委員会
- 同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会
- 同・タイ友好議員連盟事務局長
- 同・スポーツ議員連盟幹事
- 国民民主党全国青年委員長
- 国民民主党【衆議院】福岡県第4区総支部代表代行
- 福中・福岡同窓会顧問
- 古賀寛成館高校後援会名誉顧問
- 【家族】 会社員の妻、11歳の長男、8歳の長女
- 古賀東小学校PTCA前会長
- (PTCA=PTA+地域のC)

県政報告会の特別企画として、私のもとでインターンシップを経験した大学生による政策発表会を開催しました。古賀市や福津市、宗像市、新宮町などからご参加いただいた皆さんとの意見交換も活発で、学生たちにとっても大変刺激になったようです。

これも私が政治家として若者の主権者意識を涵養する取り組みの一環です。学生たちは2カ月間、私と一緒に県内各地の様々な現場を回り、社会課題を認識し、



インターンを経験した大学生(写真右の3人)と一緒に報告会を開催＝6月27日

各自自治会の公民館・集会所を回っての対話集會も継続しています。6/7月は古賀市の中央区、千鳥北区、古賀北区、高田区、庄北区で開催しました。お声掛けいただければサークルの会合などにも伺います。事務所(092・692・8510)までご連絡ください。

その解決のための政策を立案します。せっかく考えた政策だから、学生の良き経験にとどめるのではなく、多くの人に発信したほうが、私たち大人も刺激を受けることができ、社会のためになる。そう考え、今回の発表会を企画しました。

今回は私たちの暮らしに身近な食品ロス削減とフードバンク活動の普及拡大、食品廃棄物のリサイクルがテーマで、県議会における私から知事への提案にもつながったもの。今年3月、私は本会議でフードバンクに食品を提供する協力企業のさらなる開拓促進を求めました。知事は、食品を提供してもらええる可能性のある企業に直接訪問し、昨年12月に策定したガイドライン(食品の品質保証に関する責任範囲の明確化などを規定)を示しながら理解を求めるとに加え、商工会議所や商工会、食品衛生協会など食品関連企業が加入する団体にも協力を求め、提供企業の一層の拡大を図る考えを示しています。私からはこのことも報告しました。



骨髄ドナー支援制度が県内で拡大!

県議会6月定例会本会議では、県内市町村における骨髄ドナー支援制度の創設を後押しするため、県として市町村を支援する必要性をあらためて知事に指摘しました。日本骨髄バンクによると、私が本会議で初めて知事に提案した2016年12月時点で制度のある市区町村は全国で197でしたが、今年7月13日時点で403に、市区町村への補助事業を実施している都府県も8から15に拡大。福岡県内では柳川市、みやま市、新宮町、大木町の4市町に加え、北九州市、古賀市、うきは市、八女市の4市が制度を創設し、計8市町に広がっています。

こうした状況も踏まえ、知事は「先行自治体の状況について情報収集し、全国及び本県における移植の必要な方々の人数、提供者数、ドナー登録者数、その年齢構成やその推移、地域間を越えた移植の状況等、総合的に調査・研究を進めたい」との考えを明らかにしました。また、国による骨髄ドナーに対する休業補償制度の創設について、福岡県としても要望する方針を明らかにしました。

田辺かずき事務所からのお知らせ

【対話集會を開催】

私の政治活動は県民の皆さんの「声」があつてこそ。各地の公民館で対話集會を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などにも足を運び、活動報告と意見交換をさせていただきます。事務所(092-692-8510)まで。

【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの報告書(1～2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきます。事務所(092-692-8510)までご連絡ください。